

Mansion考

地球とともに暮らすと「いい」と。
それが、グリーンファースト。



これから二層求められる、 家庭でのCO₂削減。

温暖化の原因となっているのが温室効果ガス。その一つがCO₂です。地球環境を守るため、日本政府はCO₂排出量を二〇二〇年までに一九九〇年比25%削減することを表明しました。産業部門では、二〇〇八年度実績ですでに一九九〇年比13%削減されています。でも家庭部門では逆に34.7%増加しています。これからは、家庭部門での大幅な削減がより「層求められているのです」。

CO₂をできるだけ出さない暮らし。環境に悪影響を与えないものができるだけ少なくする暮らし。エネルギーをできるだけ使わない暮らし。自然を大切にする暮らし。エネルギーをできるだけ必要で、求められていることもよくわかっています。でも、快適さを犠牲にしたり生活コストが増えたりするのは困ります。それに、我慢すると長続きしないですよ。では、私たちはどうすればいいのでしょうか。

これまで取り組んできた 自然との共生が思想のベース。

積水ハウスでは、「我慢するのではなく、自然を上手に取り込み、快適でありながらもCO₂削減につながる暮らし」こそ、温暖化の抑制に、持続的に寄与するということに着目し、二〇〇九年、環境配慮型住宅「グリーンファースト」を発表。分譲マンションにおいても、取り組みが始まりました。グリーンファーストでは「快適性」「経済性」「環境配慮」の3つのメリットを掲げています。

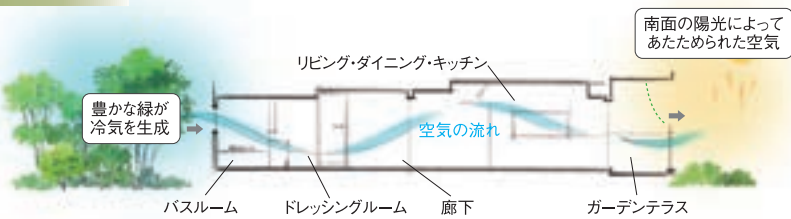


「例えば、エアコンをつけたいのを我慢してつけないのではなく、窓を開けると涼しい風が入り気持ちがいいから、エアコンをけなくともいいというようにです」(立川)「照明だってそうです。昼間、部屋に十分な採光できれば照明をつけなくていい。朝の輝く光は気持ちいいですね」(中野)「もともと日本には自然を上手に活かしながら快適に暮らす知恵があったんです。訪れる人を涼しくもてなす『打ち水』や、光を取り込む『障子』などがそうです」(佐古田)「気持ちよく快適に暮らしているんだけど、結果としてエコな暮らしになっていた」(立川)

このことにランドメゾンでは、当初から取り組んできました。地形や環境に合わせて、自然の光や風を取り入れやすく設計を工夫し、心地よい建物をつくるというのが大前提となっています。「家庭での消費電力量のトップはエアコンなんです。ランドメゾン大濠テラスでは緑の力をかりて自然の風をつくり、その風を室内に取り込むように植栽計画や空間設計を行なっています。樹木の水分が蒸発するときに発生する風のゆらぎが「そよ風」となり、涼しく気持ちのいい風が入ってきます」(佐古田)「バルコニーの手摺も、風通しの良いものにするなど、細かいところでも工夫しています」(中野)

ランドメゾン大濠テラス

北側に豊かな植栽を設けた敷地レイアウトを採用。緑の冷気生成によって発生する風が、適切な位置に窓をつくることで、室内を通って南側へ流れる仕組みです。エアコンレスを目指して、風の流れをデザインした環境設計となっています。



バルコニーにフックを設け、可動式のターフを取り付けられるように工夫。日差しを遮ることで、高温になるバルコニーに日陰をつくり、居室の温度を下げる効果があります。また、バルコニーの手摺は、風通しのよい仕様になっています

痩せ細った体でさまよい歩くホッキョクグマの親子の姿。報道やドキュメンタリー番組でご覧になったことはないでしょうか？北極では他の地域の二倍のスピードで温暖化が進んでいます。氷の上でアザラシを捕まえる彼らは、氷が溶けていくことで狩りの場を失いつつあるのです。

今、地球は、悲鳴をあげています。それは、私たちの暮らしにも影響を与えます。異常気象、自然災害、森林喪失、農作物被害、食生活や健康への影響：温暖化、光熱費の増加、家計への影響：ふだんの生活でも、感じませんか？

「あれ、暑い夏、季節外れの台風。四季の曖昧化は、日本らしい風景や風習、文化の喪失にも、つながるのです。ランドメゾンは、これまでも環境に配慮する、様々な取り組みをしてまいりました。そして今、さらに進化させた独自のブランドとして展開するのがグリーンファースト。地球とともに生きる暮らし方の提案です。」



設計 一級建築士
佐古田 智哉



営業 課長 宅地建物取引主任者
立川 英治



設計 一級建築士
中野 雄介

ProjectMember 福岡マンション事業部

自然の恵みに触れる暮らし

グランドメゾンでは、自然との共生をテーマに、マンション敷地内への「里山」づくりや、「5本の樹」計画で、その地に合った生態系を再生。身近に四季折々の自然の恵みに触れ、親しむ暮らしを提案しています。



また、グランドメゾンでは、在来種を中心に植える5本の樹計画や、水辺づくりなど、里山をお手本とした植栽計画に取り組み続けてきました。

「落葉樹を植えると、冬に葉が落ちて寂しいんじゃないかと思われるんですが、夏は繁った葉が日陰を作ってくれ涼しいし、秋は紅葉が美しい、冬になると葉が落ちて日光を遮らないので暖かいんです。ビオトープを設けることも同じ。夏の水辺には、ひんやりする心地よさがあります」(佐古田)「緑を多く植えることで、夏場、敷地内の気温を下げる効果は実証されています。グランドメゾン百道浜 OCEAN&FOREST の里山(P.18)「楽しく暮らす」(参照)で行った実験では、気象台のデータより3度も低い場所がありました」(中野)「夏の暑い日に、室内から出て、木陰やビオトープの側で涼んでいた。これも、ひとつのエコだと思っんですよ」(立川)

光を取り入れるということでは、住棟の配置と設計がポイント。

「グランドメゾン百道浜 OCEAN&FOREST では、すべての住戸を角住戸とするため、十字型の建物にしました。角住戸とすることで、どの住戸にもまんべんなく光や風が取り入れられます」(佐古田)

また、いつも身近に親しめる自然があることで、四季の移ろいを感じたり、自然からさまざまなことを学んだりし、環境への意識も高くなります。

「今、お話ししたことは、『CO₂〇〇%削減』という数値として算出はできませんが、実はその効果はとても大きいんですよ」(立川)

「ひとりでの省エネ」「やる気応援省エネ」で実現するCO₂削減。

グリーンファーストでは、このように、すでに取り組んできた自然との共生による効果とともに、住まわれる方にも、よりエコを意識した生活の提案をしています。それは、「ひとりでの省エネ」「やる気応援省エネ」という考え方。

「『ひとりでの省エネ』とは、高効率な設備や、断熱効果の高い構造にすることにより、住んでいるだけでCO₂を従来より削減しようというもの。一方、『やる気応援省エネ』とは、『スイッチオフにしないから、まあいいか...』というだけ、すぐ手が届かないから、まあいいか...』というようなことを防ぎ、やる気を引出し応援する仕掛けを用意しておこうというものです。例えば、『窓からの風がこちよいかからエアコンオフ』できるよう、窓位置や間取りを工夫して住戸内に風の通り道をつくったり、手元で止水できるシャワーにしたり、ということですね。」(中野)

「個々の設備が省エネだからCO₂を削減できますよ、という説明は、お客さまも、これまでにあちらこちらで聞かれています。でも、グリーンファーストでは、それらを生活の一部として取り入れやすく、省エネしたくなるように、人の生活目線設計に取り入れている。そこが大きな違いなんです」(佐古田)

「グランドメゾン高宮テラス」(福岡)ではグリーンファーストモデルとしてこのような思想を十分に盛り込むとともに、雨水利用、再生材利用なども取り入れて展開しています。また、「グランドメゾン自由ヶ丘テラス」(名古屋)など、各地でも取り組みをはじめました。

「ひとりで省エネ」そして「やる気を応援する省エネ」。従来から行なってきた里山をお手本とした植栽計画。その結果、CO₂削減となるグリーンファースト。地球とともに暮らすということ、グランドメゾンの住まいから始めていただければと願っています」(立川)

地球環境の危機は、もう待たない状況です。グランドメゾンでは、多様な生態系や美しい自然そして表情豊かな日本の四季を守り、取り戻すため、これから各地で、時代に先駆けたグリーンファーストモデルを展開して行きます。子どもたちの未来への責任を果たすこと、ずっと美しい地球であるように。それが、エコファースト企業としての使命です。

「ひとりでの省エネ」

「やる気応援省エネ」

実現するCO₂削減。

グリーンファーストとは、このように、すでに取り組んできた自然との共生による効果とともに、住まわれる方にも、よりエコを意識した生活の提案をしています。それは、「ひとりでの省エネ」「やる気応援省エネ」という考え方。

「『ひとりでの省エネ』とは、高効率な設備や、断熱効果の高い構造にすることにより、住んでいるだけでCO₂を従来より削減しようというもの。一方、『やる気応援省エネ』とは、『スイッチオフにしないから、まあいいか...』というだけ、すぐ手が届かないから、まあいいか...』というようなことを防ぎ、やる気を引出し応援する仕掛けを用意しておこうというものです。例えば、『窓からの風がこちよいかからエアコンオフ』できるよう、窓位置や間取りを工夫して住戸内に風の通り道をつくったり、手元で止水できるシャワーにしたり、ということですね。」(中野)

「個々の設備が省エネだからCO₂を削減できますよ、という説明は、お客さまも、これまでにあちらこちらで聞かれています。でも、グリーンファーストでは、それらを生活の一部として取り入れやすく、省エネしたくなるように、人の生活目線設計に取り入れている。そこが大きな違いなんです」(佐古田)

「グランドメゾン高宮テラス」(福岡)ではグリーンファーストモデルとしてこのような思想を十分に盛り込むとともに、雨水利用、再生材利用なども取り入れて展開しています。また、「グランドメゾン自由ヶ丘テラス」(名古屋)など、各地でも取り組みをはじめました。

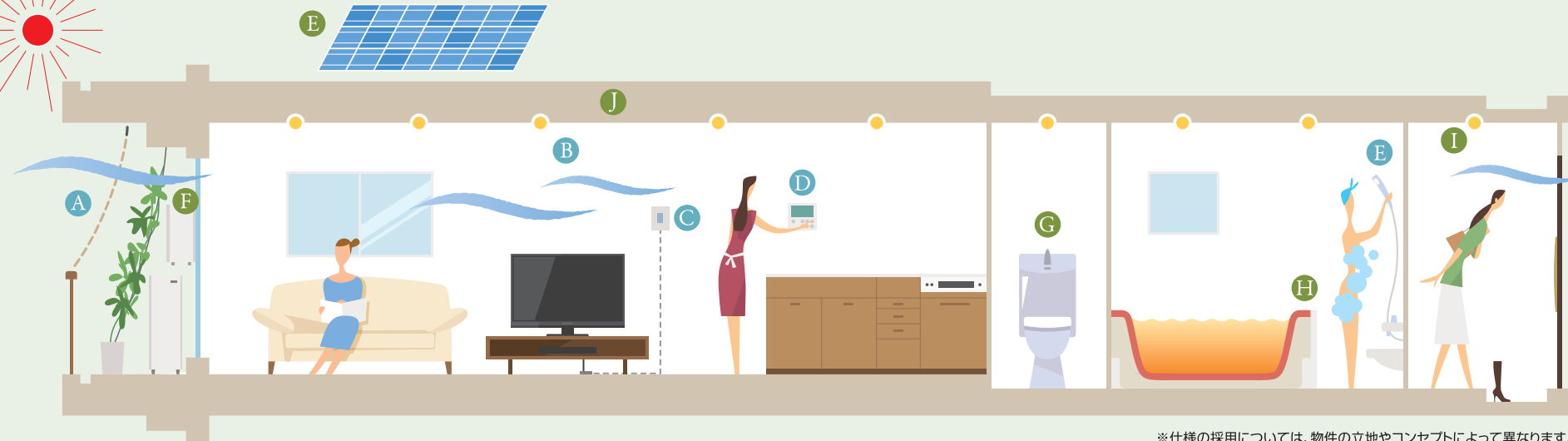
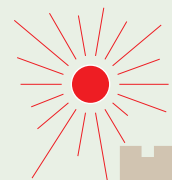
「ひとりで省エネ」そして「やる気を応援する省エネ」。従来から行なってきた里山をお手本とした植栽計画。その結果、CO₂削減となるグリーンファースト。地球とともに暮らすということ、グランドメゾンの住まいから始めていただければと願っています」(立川)

地球環境の危機は、もう待たない状況です。グランドメゾンでは、多様な生態系や美しい自然そして表情豊かな日本の四季を守り、取り戻すため、これから各地で、時代に先駆けたグリーンファーストモデルを展開して行きます。子どもたちの未来への責任を果たすこと、ずっと美しい地球であるように。それが、エコファースト企業としての使命です。

グリーンファースト モデルの仕様例

やる気応援省エネ CO₂削減したくなる仕掛け

- A** すだれ、グリーンカーテン等用バルコニーフック
- B** 風通しのよい間取り
- C** コンセント連動スイッチ
- D** 見える化リモコン
- E** 手元止水シャワー



※仕様の採用については、物件の立地やコンセプトによって異なります。

ひとりで省エネ 住んでいるだけでCO₂削減

- E** 太陽光発電システム
- F** 高効率給湯器
- G** 節水節電型トイレ
- H** 保温浴槽
- I** LED照明

